



柏市内の小学5年生を対象に毎月1回ジュニアリーダーになるための研修を行っています。レクリエーションゲーム、かまど作りから行うデイキャンプや企画の立て方、創作活動など盛りだくさんの内容で楽しみながら研修を受講します。リーダーとしての心構え、知識、技術などを学び1年間友達の輪を広げながら新しい自分を発見できます。

令和3年度

インリーダー研修生 頑張りました!!

《初級認定講習会》令和4年2月6日(日)

まん延防止等重点措置の期間のため中止となりましたが次年度に受講する事が出来ますのでチャレンジしてください。



《閉講式》令和4年3月6日(日)

閉講式は中止となりましたが、講習会参加書を渡す事が出来ました。1年間お疲れ様でした。



令和4年度

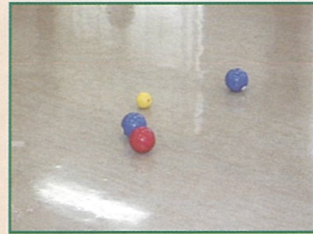
インリーダー研修はじまりました!!



6月5日(日) 開講式 オリエンテーション



7月3日(日) ニュースポーツ(ペタンク大会)



7月31日(日) デイキャンプ



かまど作り



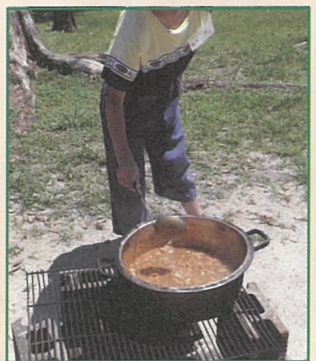
飯盒炊飯



材料を切るよ



何が出来るかな?



カレーライス!!



美味しかったね!



お子さんが家を出られる時には、お家の方から、声かけていただき、安全に気をつけていただきたいと思います。活動中に事故が起きてしまったら、速やかに会長から市子連安全会担当者にお知らせ下さい。

編集発行/柏市子ども会育成連絡協議会 広報部
会員数/1,500名 発行数/3,500部
事務局/柏市教育委員会生涯学習部生涯学習課



柏市子ども会育成連絡協議会

名誉会長より メッセージ



市長 太田 和美

日頃より、子ども達の健全育成のため、子ども会の活動にご尽力いただいている皆様に敬意と感謝を申し上げます。地域や多世代でのつながりが希薄となった現代、様々な体験の積み重ねを子ども達が自然に得る事は困難です。このような時代に、子ども会の活動は、学校・年齢・地域を超えた貴重な体験を子ども達に与える重要な活動であると考えております。皆様方の活動が、より一層充実されますことをご期待申し上げますとともに、柏市いたしましても未来を担う子ども達の健やかな成長のため、皆様と共に精一杯考え、取り組んでまいります。結びに、柏市子ども会育成連絡協議会の更なるご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

柏市教育委員会 生涯学習課長よりメッセージ



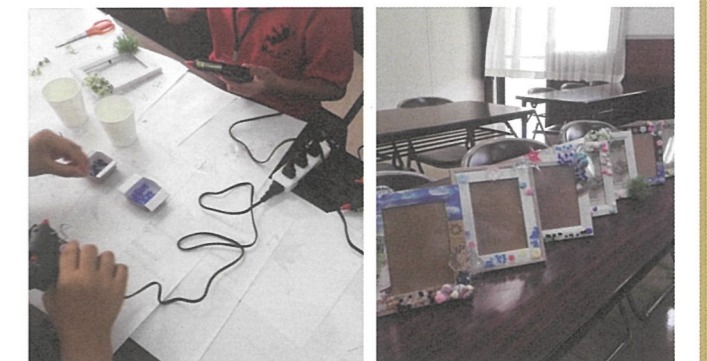
課長 沖本 雅樹

柏市教育委員会 生涯学習課長の沖本と申します。この場をお借りして、青少年の健全育成のためにご尽力いただいている皆様に敬意と感謝を申し上げます。さて、柏市子ども会育成連絡協議会は、50年以上の歴史がある由緒ある団体です。また、貴会を卒業した児童・生徒は、様々なところで活躍し、本市の発展に大いに寄与しています。市としましては、引き続き、貴会を支援させていただくとともに、皆様方の活動が、より一層充実されますこと、また、皆様の御多幸、御健勝を祈念し、挨拶させていただきます。

ジュニアリーダーより

『オリジナル・フォトフレーム作り』

令和4年6月19日(日)に柏市青少年センターで、ジュニアリーダー定例会を行いました。ジュニアリーダー定例会は、インリーダー研修とは異なりジュニアリーダーだけが参加する研修会で、創作活動やレクリエーション研修等を行ってリーダーとしての経験・スキルを磨く行事です。今回の定例会では、創作活動として「オリジナル・フォトフレーム」作りを行いました。用意するのは、100円ショップで売っている木製のフォトフレームとビーズやリボン等のデコレーション、ボンド等、身近にあるもので行いました。フォトフレームに参加者が思い思いのデコレーションを施し、自分だけのオリジナル・フォトフレームに仕上げていきました。アイデア一つでいろいろ装飾が出来、簡単に出来る創作ですのでぜひ皆さんもやってみてください。



総会

令和4年度 4月23日(土)定期総会は、縮小開催で行いました。新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から参加者は、子ども会育成連絡協議会役員のみです。単子子ども会・親子会は、書面表決となりました。20団体のうち過半数の賛成があり議案のとおり可決しました。

ご紹介

今年度の柏市教育委員会生涯学習課の市子連担当者 松田麻理子様と渡会あかり様です。よろしくお願ひします。



松田麻理子様

渡会あかり様

未来につなげる思い出作り

子ども会・親子会の運営は少子化やコロナ禍における活動制限などにより様々な課題を抱えています。そのような状況の中、工夫しながら活動を続ける子ども会の事例を広報誌92号に引き続きご紹介します。

松ヶ丘親子会

《ブルーベリー狩り》

令和4年7月3日(日) 11時～11時45分
(パックに詰め終わり次第随時帰宅)

子ども参加人数 23名 役員 3名 保護者 8名

【会場】 染谷農園

毎年恒例の行事です。

初めて体験する子も毎年参加してくれる子も楽しんでいます！

【コロナ対策・暑さ対策・気をつけた事】

前日体調不良確認、当日家を出る前の検温(現地にて聞き取り)現地にて手の消毒、密にならないように注意、換気。水筒持参、濡れタオルを首に巻くこと、帽子を被る事奨励。出欠席確認時に塩タブレット配布。



一本松子ども会・若草子ども会合同活動

《旭町こどもミニ縁日》

令和4年7月17日(日) 11時～12時30分

子ども参加人数 一本松34名 若草14名 全体で60名参加
役員 一本松5名 若草3名 手伝い 一本松6名 若草4名

【会場】 旭小学校体育館

【コロナ対策・暑さ対策・気をつけた事】

入口と出口を一箇所にして、入場前に消毒、マスク着用、家での体温測定、体育館の換気。水筒持参(当日は暑くない日でした。)

【すごく良かった事】

子どももたくさんいたので、各ブースを好きに巡れて、縁日感があったと思う。小学校の体育館なので、広い場所で各ブース余裕をもって配置出来、子ども達も走り回って遊べたのも良かった。縁日に必要なもの(ヨーヨーや光るおもちゃ等)は、まとめ売りで個数が多いので、合同で発注出来、低予算で収まった。

【子ども達の感想】

楽しかった。久しぶりにたくさん遊べた。



2022年度 アンケート結果発表

今年度、各子ども会・親子会への情報共有を目的とし、アンケートを実施したところ、20団体の子ども会・親子会より協力いただく事が出来ました。感謝いたしますとともに、皆さんの活動に活かさせていただきますようお願い申し上げます。

Q 子ども会は町会自治会とつながりがありますか？

回答 90% はい。
《助かっている事》
・町会自治会からの補助金、町会自治会も行事参加、イベント活動の支援。
・補助金のおかげで会費を無料に出来た。
・子ども達の野外イベントや問題点を一緒に考えてくれる。
・活動場所にふるさとセンター、会館利用許可。
《困っている事》
・町会役員と子ども会役員の間世代の方が少ないので時折話しづらい事がある。
・年々町会の人数が減ってきている、高齢化、仕事等でお手伝いや役員をしてくれる人が少ない事。
・町会行事の実行委員会会議の参加回数が多く、若干負担も多い。
・子ども会の入会が少なくなっているの町会から求められている役割が果たせていないように思う。

Q 子ども会活動で困っている、感じている事はありますか？

- 1位 コロナの影響で活動出来ない。
- 2位 子どもはいるが、加入しない。
- 3位 活動を支える役員、ボランティアの減少。



Q 子ども会に加入していない世帯について、把握している理由があればお聞かせください。

- 1位 役員をやりたくない。
- 2位 加入しなくても困らない。
- 3位 子どもの塾や習い事で忙しい。

Q これから子ども会活動をより活性化するためにどのような取り組みが必要だと感じますか？

・子ども会、親子会の予算をもっとあげてほしい。・親世代の共働きや、学校の役員との兼務があるなど、役員の負担が大きい為、活動に制限が出る、参加できない子がいるので、子ども会のあり方自体を考えていく必要があると思います。・学校の役員と同じ扱いでしたら、もっと積極的に役員をやってもらえるかな？

Q 市子連に対する意見・ご要望

・私は2度目の子ども会役員をしており、前回より加入者が減り、近隣の子ども会も解散していて残念に思いました。地区には子どもはいるのですが、役員がある事で、加入しない方もいます。子ども会が減ると、お友達も加入しないからという理由でますます減少していくので、どうするかが問題です。子ども会にとらわれず、イベントを開催したいのですが、費用・お手伝いの負担、何かあったら保険も無いので見送ってしまった事もあります。学校に遊びにくるように、気軽に参加できる場所は必要かなと思うので子ども達が楽しんでもらえるように活動しながら、子ども会を知ってもらえるように活動していきたいです。何か案がありましたら教えてくださいとありがたいです。

A 市子連からの回答

市子連では、文化研修部の藍染め講習会があり、今年は、4団体の子ども会の参加がありました。その際に、子ども会に入会していないが、お友達と一緒に参加された方もいました。安全会費(保険)と材料費のみの代金で参加出来ました。参加された役員の方の負担がなく、子ども会も知ってもらえる活動になります。市子連加入の子ども会・親子会は、青少年センターのキャンプ場が無料で使用できます。(デイキャンプのみ。道具は青少年センターで借りられます。)詳しくは、市子連までお問い合わせください。アンケート結果は、以上となります。(こちらのアンケート結果は、一部を紹介しています)

柏市内の子ども会・親子会の現状が、以前とは変化していることがおわかりいただけたのではないのでしょうか。社会環境の変化によりネットや安易な情報入手環境、便利で良い面もあれば、地域とのつながりや人間関係の希薄化、意識の変化、暮らし方の変化などにより子ども会に入らないという選択肢もみられるようになってきました。子ども会の行事を行う事により、地域を知り、地域に住んでいる人を知る事により地域の一員であるという認識を持って信頼できる関係、協力できる関係こそが、子どもの心身の成長にとって重要だと思います。

文化研修部より 《日本の伝統！ 藍染め講習会》

令和4年8月7日(日)
13時～終わり次第随時解散

子ども会・親子会・インリーダー研修生の自由参加です。役員等入れて 67名参加となりました。Tシャツやトートバッグ類、スカーフ等をビー玉、スーパーボールを輪ゴムで縛ったりして染めていきました。たたみ方で模様が色々と変化もします。夏休みの課題、体験に親子で楽しみながら参加していただきました。

